

第1回 草津市総合計画審議会 議事概要

日時：平成24年7月25日（水）10：30～12：00

場所：草津市役所 4階 行政委員会室

出席者：伊藤委員、今里委員、北村委員、肥塚委員、小林委員、清水委員、塚口委員、津屋委員、寺尾委員、中田委員、服部委員、深草委員、山田正人委員（以上13名）

1 開会

- ・ 市長挨拶

2 委員の委嘱および委員自己紹介について

- ・ 審議会成立の報告（委員15名のうち13名が出席）
- ・ 資料の確認
- ・ 委員の委嘱
- ・ 委員自己紹介

3 草津市総合計画審議会設置条例、同施行規則等について

- ・ 事務局説明

4 会長・副会長の選出について

- ・ 会長について、前回総合計画審議会会長の肥塚委員を審議会長に推す声あり。
（一同異議なし）
- ・ 副会長について、草津市自治連合会会長の小林委員を推す声あり。
（一同異議なし）
- ・ 会長挨拶

○会長

草津市は、人口が増えているが、さまざまな課題があるなかで、人口構造の問題を私たちは注目しておく必要がある。また、3.11東日本大震災を受けて安全・安心についての人々の意識が根本的に変わったということを私たちは考える必要がある。

- ・ 副会長挨拶

○副会長

ご推挙いただきましたので精一杯頑張りたい。会長の補佐をしてよりよい委員会ができるよう、皆さんの格段のご協力をお願いします。

5 諮問について

- ・ 諮問

6 審議

- (1)第5次草津市総合計画第2期基本計画策定方針について
（策定方針について、一同了承）

(2) 今後の審議予定スケジュールについて

【質疑応答など】

○A委員

第5回審議会後にパブリックコメントを実施して、意見が出たときの扱いは、どの組織が責任をもって行うのか。

○事務局

パブリックコメントは審議終了後に市が実施し、市民等の意見の反映は、市として対応を検討する。

○B委員

「リーディング・プロジェクトの検討」について説明されたい。

○事務局

「第1期基本計画」に本市のまちづくりを牽引する施策群として記載している。第2期基本計画のなかでもこういった取り扱いをするのかといった議論からお願いすることになると思う。

(今後の審議予定スケジュールについて、一同了承)

(3) 第5次草津市総合計画について

【質疑応答など】

○会長

基本構想と基本計画の関係について明確にしておいたほうがよいと思う。基本構想は2020年までということで議決されているが、この審議会ではどこのレベルを議論するのか。

○事務局

基本構想について、平成32年度まで一貫した取り組みを行うものとして議会で議決しており、第2期基本計画の審議では、基本方針以下の体系の部分が対象となる。

○C委員

本審議会は最終案をつくって市長に答申するが、最終の審議・決定の主体はどこか。

○事務局

最終の決定機関は部長会議となっている。

○D委員

このスケジュールでは、平成25年度事業への反映ができないのでは。

○事務局

本市の財政運営計画の中で、平成25年度の事業計画をつくっており、また、市長のマニフェストに掲げるロードマップを別につくっている、これらを組み入れたものを提案し、審議をいただく。

○E委員

項目が多いが、全5回の審議会でどういう進め方で審議をするのか。

○事務局

具体的な進め方は、会長とも十分に調整したい。ご意見等があればいただきたい。

○E委員

いちばん重要なのは、市長が2期目の選挙で掲げた77項目のマニフェスト関連の内容ではないか。

○事務局

現在、ロードマップを策定しており、マニフェストに挙げた77事業についても第2期計画のなかに盛り込んでいく。今回はそれにかかる見直しが必要な部分だと考えている。次回にマニフェストと具体的なロードマップの暫定版、また、第1期基本計画達成状況を資料として用意する。

○会長

数値目標の達成を確認すると同時に、第2期の計画において指標の設定の仕方そのものも議論いただくことになるだろう。数値目標を用いた自治体のマネジメントがより進化し、第2期で数値目標のあり方がより高い水準になればいい。

○D委員

例えば子どもの育ちのところで、草津の子どもは学校が好きであるという目標設定と数値だが、実際は学力向上重点プランとか学校教育プランの中身については数値ではまったく読めない。今は社会的にも緊急な問題が起きている最中で、中身が見えないと掘り下げられない。重点事業についてかなり掘り下げるため、事前の資料配布などにより、中身の議論に時間を使うよう工夫をされたい

○E委員

行政側からみて課題的なものとか、信任していただきたい分野等々は事前に出していただきたい。

7 閉会

- ・ 事務局挨拶